

## To do, or not to do?

### JPNIC物語(竹取物語風に):JPNICの誕生

今は昔、インターネットガバナンスらしきものありけり。仕事にまじりて、IPアドレスやドメイン名を取りつつ、萬の事につかひけり<sup>\*1</sup>。名をば研究ネットワークの連合委員会(JCRN)<sup>\*2</sup>となむいひける。そのネットワーク(WIDE、TISN、JAINなど)のなかに、もと光るセンター(JNICらしきもの)なむ、ひとすぢありける。怪しがりて寄りて見るに、大学・企業の研究活動のなかに光りたり。それを見れば、学生と見まごう研究人、いと懸命に働いていたり。JCRN<sup>\*3</sup>いふやう「われ朝ごと夕ごとに見る、インターネットの中におわするにて知りぬ、JPNICになり給ふべきものなめり」とて、手にうち入れて東大大型計算機センターに持ちて来ぬ。JCRNの幹事会<sup>\*4</sup>にあづけて、type A、Bを判定す。ポランティアなこと限(きり)なし。

### 情報記(方丈記風に):ゆく情報化のながれ

ゆく情報化のながれは絶えずして、しかも元のJUNETにあらず。ネットに浮かぶ情報はかつ消え、かつ結びて、久しくとどまりたるためしなし。ネットの情報とサイトは、またかくのごとし。

…… 中略 ……

JPNICも変わらず、人も多かれど、いにしえ見し人は、二、三十人が中に、わづかに一人二人なり<sup>\*5</sup>。朝に死に<sup>\*6</sup>、夕べに生まるるならひ、ただ水の泡にぞ似たりける。

…… 中略 ……

そのガバナンスとネットワークと、無常を争うさま、いはばネットワークのアドレスに異ならず。あるいは、IPv4アドレス在庫枯渇宣言してインターネット残れり。残るといへども、いつかは代わる? あるいは、IPv6普及活動しほみて、IPv4アドレスなお消えず。消えずといへども、真のクラウド<sup>\*7</sup>をまつことなし?



今は昔、20年前(1993年)、北海道地域ネットワーク協議会(NORTH)<sup>\*8</sup>が、WIDEとの共同研究を開始し、一大決心をしてJPNIC会員になった。情報G7のプロジェクトが始まったのが20世紀の終わり。そして21世紀になるやいなや、IPv6医療応用検討委員会を開催。その成果としてJPNIC Open Policy Meeting 2002(横浜)でIPv6 Topological Addressing Policy(TAP)を提案<sup>\*9</sup>、それを受けてIPv6 Summit in Sapporo 2003開催。そして10年。トラフィック解決や災害時に必要な地域IX? アドレス枯渇の救世主のIPv6?

IPv6 TAPとVirtual Global Network、それによる地域IXや医療専用ネットワーク<sup>\*10</sup>の実現に向け、To do, or not to do: that is the question! と、熟考中……

- ※1 がんセンター:気象衛星のひまわりや世界トップのがん情報、札幌医科大学:LAMeN(Local Area Medical Network) serverなど
- ※2 JCRNの歴史的ページ <http://www.sapmed.ac.jp/jcrn/>
- ※3 統計数理研究所 丸山直昌氏「研究ネットワーク連合委員会(JCRN)からJNIC設立へ」  
<https://www.nic.ad.jp/ja/newsletter/No52/0320.html>
- ※4 幹事会:小柳義夫委員長、釜江常好先生、村井純氏、後藤滋樹氏、野島久雄氏、東田幸樹氏、丸山直昌氏、水島洋氏、主査辰巳治之(JCRNからJPNICへのリエゾンとして)
- ※5 2013年現在、JPNIC誕生当時を知るJPNIC理事は後藤氏、佐野氏のみ。なお、顧問として村井氏、JPRS社長として東田氏は健在。
- ※6 JCRN事務局長:石田晴久先生、JPNIC初代運営委員長:平原正樹氏、SINET:猪瀬博先生、松方純氏、ご冥福をお祈りいたします。
- ※7 あらゆる物がつながり、すべてのクラウドがつながるInterCloud、the InterCloudの登場か?
- ※8 <http://www.north.ad.jp/>
- ※9 <https://www.nic.ad.jp/ja/materials/ip-users/200212/JNICOpenPolicyMeeting2002-1.pdf>
- ※10 NPO法人医療福祉クラウド協会 <http://www.mewca.jp/>

### JPNIC理事 辰巳 治之

(たつみ はるゆき)



#### プロフィール

札幌医科大学 大学院医学研究科 生体情報形態学 教授  
インターネットの医療応用に取り組み、戦略的防衛医療構想(SDMCI:Strategic Defensive Medical-Care Initiative)を提案、情報業の研究・開発に取り組んでいる。2012年からJPNIC理事、担当分野(非営利、地域)  
日本学術振興会産学協力研究委員会 インターネット技術第163委員会 医療情報ネットワーク連携分科会 主査 <http://www.itrc.net/>  
NPO法人北海道地域ネットワーク協議会 代表 <http://www.north.ad.jp/>  
特定非営利活動法人日本インターネット医療協議会 理事長 <http://www.jima.or.jp/>  
特定非営利活動法人医療福祉クラウド協会 副理事長 <http://www.mewca.jp/>  
特定非営利活動法人 MERI Japan 理事 <http://www.merijapan.org/>  
NPO法人地域医療情報連携推進機構(RHII) 理事 <http://www.rhii.jp/>  
地域医療福祉情報連絡協議会(RHW) 幹事 <http://www.rhw.jp/>